

魚類養殖の最近の動向

新里 勝也

1. 概況

本県でもこの数年で魚類養殖がブームのように広まったが、法的位置付けがあいまいであった「試験操業」という形でスタートした地区がほとんどで、特定区画漁業権の取得手続きのなか、場所の確保が困難な地区も出てきている。

また、流通面において、特にマダイについては全国的な、景気後退による需要の減、在庫過多による供給過剰の結果、価格が低迷し、投げ売りが氾濫し県内の市場（主にスーパー等）にまで及んでいる。

このような厳しい環境のなか、今年の種苗の網入れを再検討する地区が多い。

2. 生産及び販売について

平成4年までの生産状況は表-1のとおりである。

今年の種苗の網入れはほぼ前年並を見込んでおり、生産量は百数十トンくらいで推移するものと思われる。ただし、マダイについては平成4年の暮れあたりから価格が低迷しており、しばらくは厳しい状況が続くとの見方が強い。

3. 平成5年度種苗生産計画について

今年も需要調査に基づき、ほぼ例年並の生産を予定している。

4. 今後の課題

魚類養殖をとりまく環境は本県だけでなく、全国的にも非常に厳しい状況である。今後は経営及び技術面の両方から、生産、販売等をきちんとした計画に基づき検討していく必要がある。具体的には以下のことなどがあげられる。

- ・ 適正な経営規模の検討
- ・ 消費者のニーズに沿った製品の供給
- ・ 販売計画に基づく生産体制づくり
- ・ 魚病対策の徹底

表-1 養殖魚生産状況

| 期 間 | マダイ | | | ハマフエフキ | | | シモフリアイゴ | | | 備 考 |
|---------------|--------------|--------------|------------|-------------|-------------|------------|----------|----------|------------|-----|
| | 生産量 | 生産額 | 単 価 | 生産量 | 生産額 | 単 価 | 生産量 | 生産額 | 単 価 | |
| H 2.1 ~12月 | kg 44,582 | 千円 57,859 | 円 1,298 | kg 1,950 | 千円 2,259 | 円 1,158 | kg 48 | 千円 48 | 円 1,000 | |
| H 3.1 ~12月 | 125,294 | 156,252 | 1,247 | 10,109 | 13,316 | 1,317 | 4,965 | 4,740 | 955 | |
| H 4.1 ~12月 | 137,244 | 168,282 | 1,226 | 14,747 | 18,850 | 1,278 | 1,933 | 1,959 | 1,013 | |